

思
わ
ず

踊りもでて



'94 10/1

町民

ギャラリー

⑫ (写真の部)

特 賞

「落ち葉」
川口 岩雄さん(堂ヶ岱)



〈選者評〉
画面一杯の落ち葉と鳥居から奥の暗部との
コントラストと構図がよく、秀作。

※今回をもって「第五回鷹巣町美術展覧
会」の入賞作品の紹介を終わります。
なお、次号からは保育園・幼稚園児
小・中学生の作品を紹介します。

※審査員 秋田県写真協会副会長 碓谷欽一郎 氏

31・月	30・日	29・土	28・金	27・木	26・水	25・火	24・月	23・日	22・土	21・金	20・木	19・水	18・火	17・月	16・日	15・土	14・金	13・木	12・水	11・火	10・月	9・日	8・土	7・金	6・木	5・水	4・火	3・月	2・日	1・土	〈10月〉	
	東京鷹巣会・綴子小学校創立百二十周年記念式典				原子力の日		霜降	鷹巣小学校創立百二十周年記念式典					統計の日(総務庁)								体育の日・町民健康のつどい	世界郵便デー	寒露・木の日(林野庁)					南小学校創立百二十周年記念式典	全国防犯運動(10日)			

・体力づくり強
調月間
・電波障害ク
リ月間
・住宅月間

- 町民ギャラリー
（町展入賞作より）…………… 2
- 9月定例議会行政報告…………… 4
- 各地区で「敬老式」…………… 6
- 社会科副読本「わたしたちの た
かのす町」を発刊
町長日誌…………… 7
- 1994鷹巣町観光のまちづくり
プレイベント「シンポジウム」から
…………… 8
- 健康のつどい、秋田内陸線5周年
記念イベント…………… 10
- 町の話題…………… 11
- 健康広場…………… 12
- 暮らしの情報…………… 14
- 鷹巣町特産品開発コンクールほか
…………… 16

〔表紙のこぼ〕



敬老の日の9月15日は各地区で敬老式が行われました。坊沢地区でも元気なお年寄りたちが出席して式典が行われ、祝宴に入りました。婦人会の踊りに続いて小学生が民謡を披露すると、出席者から飛び入りで踊りが出て、会場もなごやかに…。踊り好きのおじいさん、そして皆さん、これからもお元気でー。

（関連記事 6ページ）

人口と世帯数	8月31日現在
	住民基本台帳による

総人口	23,270人 (18人減)
男	11,207人 (8人減)
女	12,063人 (10人減)
出生	19人 転入 43人
死亡	22人 転出 58人
世帯数	7,398世帯 (5世帯減)

カルチャー&スポーツ

ミニガイド

ファルコン

- 10・7(金) 鷹巣中学校合唱コンクール 9:00~12:00
- 10・8(土) たかのす劇団第3回公演「街・さんざめく朝^{あした}」
入場料/前売 500円、当日 700円、小学生以下無料
開場18:00 開演18:30 全席自由
- 10・14(金) 成田睦子・北嶋いずみジョイントコンサート 19:00~
入場/一般 1,000円、ペア券 1,500円
- 10・15(土) 「おはなしでてこい」絵本の読み聞かせ、紙芝居など
主催：町立図書館ボランティア たまてばこ
- 10・16(日) 映写会「ヤマトタケル・平成狸合戦ぽんぽこ」
①10:00~13:40 ②13:50~17:30 ③17:40~21:20
入場料/前売大人・高校生 1,000円 (当日 1,500円)
前売幼児3歳以上・小中学生800円(当日1,200円)
- 10・17(月) 平成6年度文化庁移動芸術祭 「寄席芸能公演」
入場料/前売一般 2,800円 (当日 3,300円)
前売小中高生 1,500円 (当日 2,000円)
- 10・23(日) 永井功25周年チャリティー歌謡ショー 11:00~15:30
・カラオケ大会 入場料/ 1,000円 全席自由

※詳しいことは、ファルコン (62-3311) まで

中央公民館

- 10・1(土)・2(日) 松生派華道展
- 10・7(金)~9(日) 鷹画会展

スポーツ

- 10・1(土)・2(日) 全県中学校新人陸上競技大会 鷹巣競技場
- 10・5(水)~7(金) 県北高校新人バドミントン選手権
鷹巣体育館
- 10・10(月) 町民健康のつどい //
- 10・15(土)・16(日) 全県総合バドミントン選手権大会 //
- 10・22(土)・23(日) 全県高校バレーボール選抜優大会 //

行政報告

平成六年九月定例議会は、九月九日から十九日までの会期で開かれました。議会初日には町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われ、十二日に一般質問、十三日から各常任委員会で付託議案等を審議し、十九日に閉会しました。九月定例議会の行政報告は次のとおりです。なお、決定した議案等については、次号広報でお知らせします。

地域政策課関係

第3回「ふるさと交流プラザinたかのす」を八月十四日開催し、首都圏在住の東京鷹巣会会員をはじめ、同窓会グループなど百名を超える参加がありました。

工業団地については、大規模県営工業団地の誘致をめざし、八月十一日立地調査業務委託を発注しました。

秋田内陸線の平成五年度決

住民生活課関係

町消防訓練大会は、七月二十四日消防団員約三百名参加のもと行われました。

粗大ゴミの収集については、全町内百四カ所に集積所を設け、八月十、十一日の両日実施し、約六百三十六トを収集しました。ゴミの内容を見る

算状況は、前年度比で輸送人員が二万六百十二人の減、収入総額で九百七十一万円の減で、経常損益では一億二千三百三十九万三千円の赤字でした。経営努力を重ねているものの、沿線町村の人口減少が利用客の減少につながっており、今後さらに、沿線町村協議会を中心に利用増進に努め、経営改善に資してまいります。

と、通常の収集日に出せるものが三分の一度程度混入されており、埋立地の寿命を縮めることにもなることから、今後は燃やせるゴミ、燃やせないゴミを完全に分別し、決められた収集日に出していただくよう指導してまいります。

空港推進課関係

大館能代空港については、本体工事に着手しておりますが、要望していた地元発注は四社が下請けとして参加しております。

また、湯車地区の移転は、六月末に造成工事が完了し、現在五世帯が住宅の建築中でありま

航空需要の創出や地域の活性化をめざして、大館能代空港活用研究会が八月一日発足し、本年度内に研究報告をまとめることとしております。

四十日間にわたって開催した空港展は好評で、空港建設

福祉保健課関係

結核検診や成人病予防対策の各種検診については、今年度保健補導員の協力により一括申し込み方式を取り入れたところ、町民の検診に対する関心が高まり、受診状況は昨年度実績より五十一％増の六千九百人余りとなっております。

福祉のまちづくりワーキンググループ活動は、九月一日、四回目の全体会を開催し、福祉の家を拠点に「補助器具の利用拡大」「在宅介護を考え

と利用促進のムードを高めることができました。



順調に工事が進む大館能代空港建設現場

る」など十のテーマを自主的に定め、七年二月の提案に向け活動を進めております。

福祉総合整備事業サテライト計画の二号施設「地域福祉センター」の建設については、六月二十九日付で六、七年度の二カ年継続事業としての内示がありました。

また、老人保健事業推進事業（福祉・医療・保健の連携）と二十四時間在宅ケアを推進）については、特認事業として百％補助の内示がありました。

農林課関係

平成六年産米の限度数量個人配分は、第一次転作確認後、うるち米一万百七十ト（十六万九千五百十俵）、もち米七十一ト（千百八十俵）計一万二百四十一トを七月十一日付で農協を経由し、生産者に配分しております。

第七回全日本レディス・アユ選手権及び、94ヨネシロカップ・アユ選手権は、八月十六日開催され、全国各地から太公望百五人の参加がありました。が、「大アユの里たかのす」

商工観光課関係

内幸町勤労者住宅地建設工事は、六月三十日に発注し、現在盛土工事などが順調に進んでおります。

平成七年度の町村合併四十周年を控えたプレイベントとして、観光のまちづくりイベント実行委員会を組織し、九月三日、四日の両日シンポジウムとフェスティバルを開催しました。また、フェスティバルに引き続き駅前通りと銀座通りにおいて「どんどこ阿波踊り」も催され、約二万人の人数でにぎわいました。

を全国にPRできました。

野外研修施設リトルグリーンハウスは、トイレ、炊事場工事が完成しました。

県営事業で進めている大区画圃場整備事業は、綴子地区、葛黒地区とも天候に恵まれ順調に推移しており、面整備も八月中に終了しました。

また、鷹巣町森林組合が、林業構造改善事業で実施中の国産材加工施設（かなな盤、乾燥機電気工事）が完成し、操業を開始しております。

建設課関係

六月以降八月末現在の工事等の発注状況は、建設関係（道路維持改良、住宅等の工事、業務委託ほか）三十一件、一億六千四百六十六万六千円、公共土木施設災害復旧関係（道路、河川、業務委託）三件、千四百四十四万八千円、公共下水道関係（業務委託）四件、七百八万千円となっております。

線越明許費で継続施工していた下水道幹線管渠布設工事

教育委員会関係

今後の教育行政に、より広い視野を持ち中長期的展望のもとに推進するため、七月四日議会教育民生常任委員会と教育委員会で、教育懇談会を開き相互に理解を深めました。

鷹巣中学校の今年度改築分は、八月末現在で建築工事が四十四・四％、機械設備工事が十五％、電気設備工事が十・二％、外構工事は十六・九％の進捗率です。

なお、前年度工事のフローリング床面の膨脹については、八月二十五日までに多目的ホール全面張替えや表面切削と再塗装を終了し、二階部分は

は、各工区とも完了しました。

また、町道七日市（松沢線の道路改良工事は、八月末日完了し、仮称「大畑橋」の上部工事は、現在仮設工事に入っております。

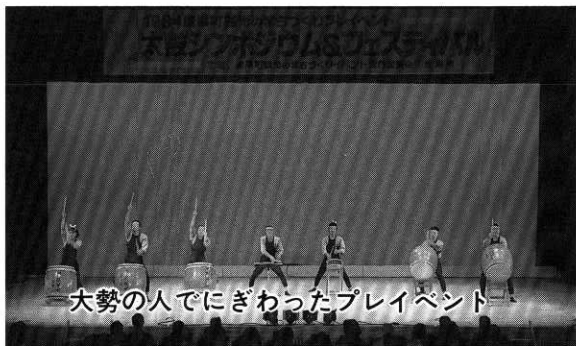
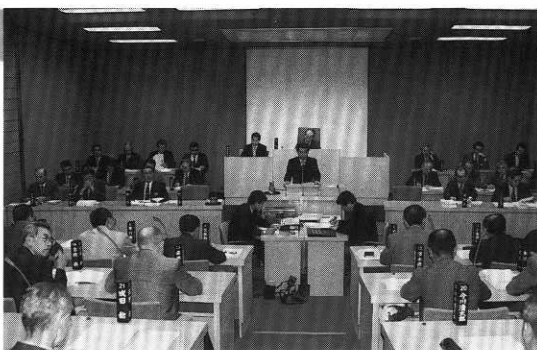
融雪災害による公共土木災害は、河川十七カ所が確認され、第一次、二次査定が行われた結果、七千四百三十九万千円の査定額となりました。着工承認となり次第発注を予定しております。

冬休み中に処置するなど、万全を期してまいります。

生涯学習課関係では、各地区公民館を拠点に移動図書館を開設しております。

また、平成六年度の成人式に二百四十六名（対象者三百四十名）が出席して八月十五日に行われ、成人への門出を祝いました。

町民体育課関係では、第二十三回町民体育祭が八月二十八日開催され、約千五百名の参加者が遊競技に興じ、暑さの中なごやかに交流を深めました。

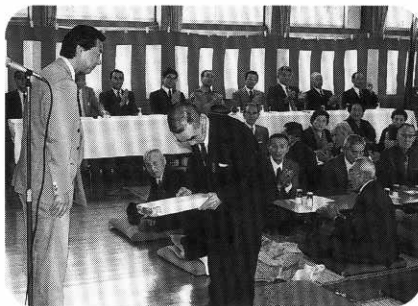


大勢の人でにぎわったプレイベント

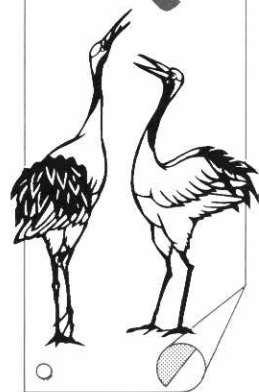


栄地区の祝宴はチャグチャグ馬つこ (太田婦人会)
で華やかにオープニング

長寿を祝い合った
楽しい一日……



喜びの 敬老式

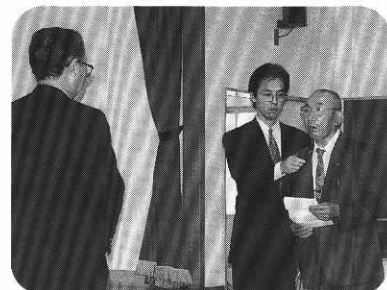


なごやかに談笑する出席者の皆さん
(坊沢地区)

今年も九月八日の青山荘をはじめ、敬老の日の十五日には六地区、十八日には鷹巣地区で盛大に敬老式が行われました。
対象者は、大正八年九月十五日以前に生まれた方(七十五歳以上)千七百九十一人で、朝早くから式典会場に元気な姿を見せていました。式典のあとは、なごやかな祝賀会が催され、婦人会の方たちの手厚いおもてなしを受けたお年寄りたちは楽しい一日を過ごしました。



笑顔が
長生きのひけつです!!



下大沢・田村粕蔵さんの「お礼のことば」(抜粋)をご紹介します。

本日は敬老式にお招きいただきありがとうございます。大正七・八年生まれの私たちの七十五周年は移り変りの激しい年月でした。振り返ると昭和十三年に兵隊検査を受け、支那事変、大東亜戦争、終戦を経験しましたが、元気でいれば当然今日のこの会に出席しているはずの友達も何人かは亡くなりました。(中略)
最後にこの会を催してくださった皆様、特に婦人会の方々には厚くお礼申し上げます。そして、「この町に住み長生きして良かったなあ」と安心して老後を過ごせるような町をつくってください。お願いいたします。



おいしい「お料理」に「お酒」そして「踊り」と楽しい1日でした (七座地区)



太田、摩当の両婦人会がたくさんのおし物で楽しませてくれました。(栄地区)

町長日誌

9/1~15

1日(木) 第4回福祉ワーキンググループ全体会に出席。

1日(木) 七日市地区『町長と語る会』に出席、地区よりの要望等について回答し懇談した。

3日(土) 『観光のまちづくり太鼓シンポジウム』に出席、国立劇場調査養成部長、西角井正大氏外各界の太鼓の専門家をパネラーに「太鼓によるまちづくり」についての方策を探り合った。

4日(日) 『観光のまちづくり太鼓フェスティバル』・『みちのくたかのす郷土芸能とどんどこ阿波踊り』に終日参加、郷土芸能や特別出演の石川県の『炎太鼓』、大阪府の『るんびに太鼓』、メインの『どんどこ阿波踊り』など、約2万人の観衆とともに優雅な舞いや勇壮なパチさばきを堪能した。

6日(火) 大館能代空港利活用研究会に出席、あいさつ。

8日(木) 青山荘敬老式に出席、75才以上のお年寄り85名の方々の長年のご労苦に感謝をしながら長寿をお祝した。

9日(金) 町議会9月定例議会が開会。行政報告をした後、平成6年度一般会計補正予算案など10議案を提案し大綱質疑に対して答弁をした。

10日(土) 鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団結成15周年記念祝賀会に出席。

11日(日) 日本民謡協会秋田鷹巣支部の民謡チャリティー発表会に出席。

13日(火) 鷹巣阿仁地区生涯学習奨励員学習会に出席。

15日(木) 鷹巣町内6地区の敬老式に出席、「人生の大先輩のみなさんの期待に沿えるよう努力し行政の責任を果たしていきたい。みなさんの経験と知識を持っておおいに後輩を育てて下さい」とお祝いと激励のあいさつをした。



わたしたちのたかのす町



小学校社会科副読本 『わたしたちのたかのす町』 が刊行

このほど町教育委員会、町教育研究所は小学校社会科副読本・「わたしたちのたかのす町」を刊行しました。

この副読本は社会科の授業の中で自分たちの生まれ育ったふるさとについて学んでもらうことを目的に、町内七小学校の三年生向けに編集されたものです。

内容は町民憲章、町民歌から始まり、全町の地図や町内にある遺跡、文化財などを紹介しているほか、各小学校の周辺の様子を空撮写真を交えながら説明したり、町の施設の機能や産業の現状についてグラフやカラー写真を使いながら紹介しており、見やすくわかりやすいものになっています。また、町の暮らしの移り変わりや町におこった出来事が年表になってまとめられています。

各小学校では二学期からの授業ですで使用していますが、この副読本は児童だけではなく大人が読んでも町のことを知ることができますので、機会があればぜひご覧ください。



いつもチャレンジ広報クイズにご応募ありがとうございます。

今回も誌面の都合によりお休みしますが、六月十五日号の正解と当選者を発表します。

■六月十五日号の正解

▽問一 100人

▽問二 誕生月

▽問三 8月二十八日

■当選者

▽千葉美稚子さん▽沢田ヨシさん▽藤本ユキさん▽渡辺通善さん▽鈴木真樹さん

当選した方にはテレホンカードをプレゼントします。これからもふるってチャレンジ広報クイズにご応募ください。



「事興し」から「人興し」そして「人の和」へ

「町村合併四十周年イベント・シンポジウムより」

シンポジウムの開催に先立ち、岩川徹町長が「町が外に対して誇れるもののひとつが綴子の太鼓と太鼓の里であり、これを観光や産業、文化などの面で振興につなげていければと考えている。来年は今年よりさらに大々的なイベントが開催できるように、私も皆さんとともに太鼓について勉強したい」とあいさつし、シンポジウムがはじまりました。

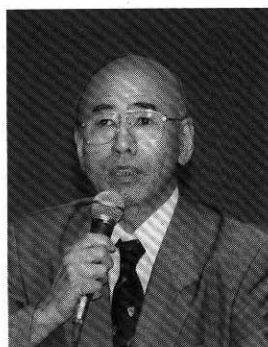
パネリストは国立劇場調査養成部長の西角井正大氏、三重大学教育学部助教授中西智子氏、太鼓の老舗石川県浅野太鼓店専務の浅野昭利氏、同県松任市の太鼓イベント「老刻老響祭」の事務局長で女性のプロ太鼓グループ・炎太鼓のメンバーの池田美由紀氏の四氏で、元NHKアナウンサーの林昭利氏がコーディネーターを務めました。

大太鼓は全国でもユニークなもの

郷土の精神を込め独自のイベントを

西角井氏 「こちらの太鼓の館のような近代的な施設は他の自治体にはなく、全国でも太鼓博物館は石川県松任市と東京の浅草のそれぞれ太鼓店にあるくらいで、大変貴重なものです。さて、太鼓の起源についてみると、五、六世紀頃、今から千五百年程前には広まっていたものと思われ、虫追いや雨ごいなど農耕生活の必需品であったようです。また、平安時代からある京都の三大祭りでは、祭りの行進をはやすのが太鼓の役目で、綴子の太鼓もそれと同

じ種類と思われれます。その後次第に太鼓は信仰的要素が強くなってきました」



にしつのみまさひろ
西角井正大氏

国立劇場調査養成部長。和太鼓研究者としても著名。「民俗芸能入門」など著書編著多数。

「太鼓ほど種類も多く音色もバラエティーに富む楽器はないが、特に日本の太鼓は外国のものに比べてつくりが細やかで繊細です。種類でいうと綴子の太鼓のような桶胴式の太鼓が多い訳ですが、ものが大きいだけに打ち手も大変なようでして、太鼓を上下から打つというのは、こちらから津軽にかけてしかない全国でも独特なものだと思います。いずれにしても、最近の太鼓ブームは、太鼓に郷土の精神を込め、独自の音楽を作ろうと盛り上がり、これに熱を入れてイベント開催へと進んでいる方向ではないかと受け止めています」

全国に太鼓チームは約四千叩き手五万人

グループ育成とイベントの方向づけが課題

浅野氏 「一九七〇年代から和太鼓の出荷量が特に増えはじめ、太鼓ブームが続いています。現在、太鼓チームは全国に約四千くらいあり、町興し、村興

町村合併四十周年を来年に控え、太鼓をメインにしたまちづくりと活性化に向けたイベントとして、九月三日、四日の二日間「太鼓シンポジウム&フェスティバル」が開催されました。町と観光のまちづくり実行委員会が共催したこのイベントは、風土館が超満員となる盛況ぶりです。太鼓の里の熱気を内外にアピールしましたが、太鼓の歴史や魅力、太鼓のイベントなどについて語り合ったシンポジウムの要旨について紹介します。

しのためにはじめたものが大半で、幼稚園児から大人まで五万人がバチを握っています。一方、和太鼓は海外でもはやされ、アメリカやカナダには五十チーム以上もあるそうです。女性や子どものチームが多いことから、国内外を問わずまだまだ拡大するものと見ています」



あさの 昭利氏
 太鼓の老舗、石川県浅野太鼓店の専務。松任市で開催される太鼓の大イベント「吉刻吉響祭」の仕掛人。

表示するなど内容が伴わない性急な取り組みのグループもあり、上辺だけの成功ではその後上達しないので、他チームと比較して自分たちのグループのレベルを知ったうえで、芸を磨いてほしいと思っています。また、最近では行政もやっとなソフト面に金をかけるようになりましたが、グループを作った後のフォローや、イベント開催の方向づけなど、しっかりと行っていくことがこれからの課題ではないでしょうか」

音を体感することに大きな魅力

太鼓は基本的な人間教育にも

中西氏 「太鼓は理屈抜きで入れることから、学校や幼稚園でも取り入れて欲しいと思います。また、太鼓は西洋楽器にない振動を感じることができるので、子どもが叩きたがったり、日本人がひかれるのではないのでしょうか」

「三重県の太鼓グループを集めて『千人太鼓』（実際は千三百人）をやりましたが、作曲者が



なかにし さとこ 中西 智子氏

三重大学教育学部助教授。幼児に対する音楽教育の問題から太鼓に関心を持ち、三重県内の太鼓グループ調査研究の第一人者。

四十三グループのリーダーに曲の指導だけではなく、太鼓の基本的な叩き方から丁寧に教え、それがグループに広がったため、底辺の拡大とレベルの向上にもつながったと思います。そして、職業や年齢に関係なく連携しながら音楽を感じ、自分が千人太鼓をやりたいと、気概をもって取り組む中で、人と人とのつながりや深い付き合いになっていきました。一人ひとりの基本的な人間教育もできていた人たちだったので、「事興し」が「人興し」になり、「人の和」へと進展したことに、大きな意義を感じています」

太鼓を通じて人間の原点を表現できれば

ザッターという満足感が明日へのエネルギー

池田氏 「太鼓の練習場の確保のことがいわれていますが、私たちはその点は恵まれていますし、太鼓に向かわない時は、タイヤをつり下げて叩いたり、家では電話帳をボロボロになるまで練習しました」

「吉刻吉響祭は、地元で開かれた国民文化祭での太鼓演奏の感動が忘れられず、太鼓好きの姉ちゃん



いけだ みゆき 池田美由紀氏

女性演奏者3人のプロ太鼓グループ「炎太鼓」のメンバーで、「吉刻吉響祭」では、事務局長をつとめる。

三人と浅野さんの四人で「やってみよう」とスタートしました。「元気で生きていこうよ」というのが祭りの趣旨で、たくさんの方が太鼓を叩き、そして好きになり、太鼓を通じて人間の原点を表現できればと考えています。素人一人ひとりの手づくりの発想で、とにかく自分たちの祭りなんだ」と取り組むことが明日への活力につながり、さらに「ザッター」という満足感が味わえればと二回開催し、今また、来年に向けて一歩を踏みだそうとしています」

他の地域にない大太鼓を生かせ

全国に響くイベントを目指す

シンポジウムの最後は、太鼓を生かした観光のまちづくりに向けて各氏がエールを送りました。

西角井氏は「たくさん人が集まるかどうかでイベントが評価されます。来年の鷹巣町のイベントは、近隣の市町村など町外も巻き込んだイベントにすべきで、用意周到な計画を立てて、東北の太鼓イベントとしてトップクラスのものを実現してほしい。また、他の地域にない大太鼓を、行政と町民がうまくかみ合いながら生かしていったらどうか」

浅野氏は「太鼓は文化的には継続していけると思いますが、社会的にもどうあるべきかが大事なので、金をたくさんかけるだけではなく、目的や方向づけをしっかりと持ったものを」

池田氏は「町づくりの主役は皆さん自身です。その情熱と元気があるところには観光客も心ひかれてきます。ぜひがんばってください」

そして中西氏は「福祉のまちづくりに住民のワーキンググループががんばっている町なので、エネルギーが感じられます。あとは町長しだいでは?…」、これに対して岩川町長は「世界一の大太鼓を生かし、全国に響くイベントを目指したい」と応えました。

—— 体育の日は家族みんなでスポーツを ——

町民健康のつどい とき 10月10日 ところ 鷹巣体育館

スポーツの秋です。澄みきった青空、色あざやかな紅葉、すがすがしい空気をすってご家族おそろいで体力づくりをしてみませんか。快い汗を流して若さを保ちましょう。

【目 程】	8:00~8:30	受付
	8:30~8:40	開会式
	8:40~8:50	ラジオ体操・柔軟体操
	9:00~12:00	体力テスト・血圧測定（第2体育館） 体育館・プールは無料開放
	9:00~10:30	フリーマラソン（3km）・歩こう会
	10:00~11:30	NHK杯ジャンボなわとび大会
	10:00~12:00	ニュースポーツに親しもう ・ラージボール卓球・ソフトバレー ・ターゲットバードゴルフほか
	12:00~12:15	閉会式



主催：鷹巣町・同教育委員会・同体育協会

秋田内陸縦貫鉄道株式会社全線開業5周年記念イベント

「俳優 粟津 號のひとり芝居とカラオケを楽しむ」 あわづごう

（秋田内陸線イベント列車）

- 期 日 10月16日（日）
- 募集人員 65名様（鷹巣町から15名程度）

- ・ 行 程 鷹巣駅 8:59発
|
角館駅 10:49着 12:16発
|
鷹巣駅 14:13着
(急行もりよし号で往復)
- ・ 費 用 お一人様 4,000円
- ・ 申込み先 秋田内陸縦貫鉄道(株)
(☎82-3231)
秋田内陸線鷹巣駅
(☎63-0643)
役場地域政策課 (☎62-1111)



（粟津 號プロフィール）

1945年 男鹿市生まれ。本名祐教。1972年度「キネマ旬報」男優賞にノミネートされて以来“旧き懐かしい日本人”としてNHK「炎立つ」「花の乱」のほか数多くの映画、ドラマに出演。現在は自作自演のひとり舞台「上野駅14番線」上演、講演活動と幅広く活躍中。

お気軽にご参加ください

内陸線パノラマカーでJR線乗り入れ

- 弘前城秋まつりとりんご狩りの旅
(添乗員同行)

期 間 10月23日（日）〔日帰り〕
募集人員 130名様（最少催行人員100名様）
旅行代金 10,700円（鷹巣から）

内陸線自慢のもりよし号で

- わらび座観劇と沿線紅葉の旅
(添乗員同行)

期 間 10月29日（土）～30日（日）
募集人員 40名様（最少催行人員25名様）
旅行代金 23,800円（鷹巣から）

お問い合わせ・お申し込みは秋田内陸線観光(☎82-3666)または秋田内陸線鷹巣駅(☎63-0643)へ

町長賞に初の個人(松尾フミさん)

— 鷹巣町花いっぱい運動推進協議会

花だんコンクール—

鷹巣町花いっぱい運動推進協議会(畠山喜代治会長)の花だんコンクールが先月十九日行われ、例年になく猛暑で花だんの手入れも大変だったにもかかわらず二十七団体・七個人の方々が受賞し、年々園芸に対する意識が高まっていることをうかがわせるコンクールとなりました。

表彰式は十一月三日、たかのす風土館で行われます。主な賞を受賞された方は次のとおりです(敬称略)

【町長賞】松尾フミ(太田) 【町議会議長賞】大堤子ども会と若妻学級 【教育長賞】新田中町内会、近藤敏子(旭町)

【中央公民館長賞】太田農協婦人部、糠沢子ども会 【花いっぱい運動推進協議会会長賞】田中自治会婦人部、鷹巣地区婦人会



町長賞に輝いた松尾さんの花だん

町の文化財を知る機会に

— 長岐家所蔵品特別展 —

町の文化財に指定されている七日市・長岐邸の所蔵品を展示した「長岐家所蔵品特別展」が、たかのす風土館(ファルコン)で開催されています。

長岐家は七日市地区の親郷肝煎や村長を代々務めた由緒ある家系で、今回展示されているのは「老農置土産並びに添日記」を書き残した七代七佐エ門の肖像画をはじめ、三十六歌仙絵巻上下巻・什器類など四十九点となっています。

同展は十一月六日(日)まで開催される予定ですが、由緒ある貴重な品々をとおして町にある文化財に対する理解を深めてもらえればと関係者から期待が寄せられています。

悪天候の中 元気よくチャレンジ

— 第八回米代川イカダくだり大会 —

米代川でイカダくだりを通して自然とふれ合おうと、日専連鷹巣会主催の第八回米代川イカダくだり大会が先月十一日に行われ、町内外から九チームが参加して手づくりのイカダでタイムではなく外観やイカダの強度、安全性、参加者のパフォーマンスによるアピール度を審査基準に競い合いました。

当日は雨により川の流れが速く参加者たちはオールを使うのも大変な様子でしたが、仲間や見物にきた人たちの声援を受けて一生懸命7kmにわたるコースにチャレンジしていました。

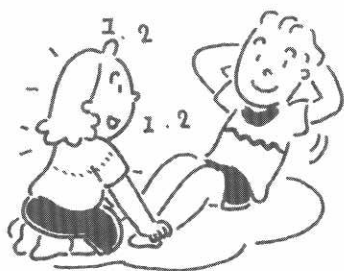
主な結果は次のとおりです。▽優勝 鷹巣町連合青年会(佐藤隆寿代表) ▽準優勝 津谷組二号(佐藤雄一代表) ▽三位 鷹巣町商工青年部(成田憲史代表)



健康広場



福祉保健課からのお知らせ



「体力づくり
強調月間」

福祉メモ

14

ワーキンググループについて

前回に引き続き、各グループの具体的な取り組みについて紹介します。

【第三グループ】

この第三グループは、それぞれがこれまでの生活の中で両親を介護したり自分でも何らかの障害をもった経験などにより、「住まい」を改めて考えてみたいと集まったメンバーです。三年目の今年は十九人となり、建築士・主婦・大工・理学療法士と職種もさまざま、意見も豊富に出されるようになり活動も具体的になりました。

八月中旬、手術後のKさんの膝に負担がかからないようにと、一時退院の日に段差をなくすにはどうしたら良いか、どこに手すりをつけたらよいのか家のチェックを行い、病院のリハビリの先生からのアドバイスとグループの提案を改善プランとして作成しました。そして、社会福祉協議会と役場福祉保健課の担当者により短期間のうちに改善がなされ、現在Kさんは施設に入所しているお母さんと同居するための準備をしています。

私たちの活動はここで終わりではなく改善した家で生活していくうえで不便な点などの調査を続け、住み慣れたこの町で安心して暮らし続けられるよう計画段階から老後を考えたいづくりを考えたいと考えるために続けていきたいと考えております。

— 鷹巣町福祉のまちづくり
ワーキンググループ
(福祉行政サービス) —

第七回社会福祉士国家試験

詳しい内容については、受験申込書をご覧ください。

- 試験日 平成七年一月二十二日(日)
- 試験時間 午前十時～午後三時四十分
- 試験科目 社会福祉原論、老人福祉論など十三科目
- 試験会場 札幌、仙台など全国十一都市
- 受験資格 (1)四年制大学で指定科目を修めて卒業した者 (2)社会福祉士一般養成施設において一年以上必要な知識と技能を習得した者 (3)児童福祉士、身体障害者福祉司、福祉事務所の査察指導員、精神薄弱者福祉司及び老人福祉指導主事であった期間が五年以上ある者
- 受験申込期間 九月二十日(火)～十月十九日(水)
- 受験申込書請求先 〒一五〇 東京都渋谷区広尾五十九-十五 広尾ARAビル (財)社会福祉振興・試験センター試験部(☎〇三-三二八〇-〇九一五)

夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分～9時)

10月	曜日	医療機関名	電話番号
1	土	戸嶋産婦人科医院	62-1123
2	日	近藤医院	62-1155
3	月	鷹巣病院	62-1210
4	火	北秋中央病院	62-1455
5	水	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
6	木	津谷内科	62-2261
7	金	遠藤クリニック	63-0515
8	土	奈良医院	62-1146
9	日	北秋中央病院	62-1455
10	月	佐藤外科消化器科医院	62-1420
11	火	佐々木産婦人科医院	63-0105
12	水	盛岡外科医院	62-1101
13	木	戸嶋産婦人科医院	62-1123
14	金	北秋中央病院	62-1455
15	土	としま医院	62-1267

○ 応急の診療を要する患者。
○ 往診はしておりません。
○ 仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

応じかねます。
※年齢・病気の症状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。

10月の健康ごよみ

■ 3日(月)・17日(月)

○ 母子健康手帳交付と第1回妊婦教室

場所—中央公民館保健相談室

受付時間—午後1時～1時10分

(妊婦教室終了は3時)

持参—印鑑

■ 11日(火)

○ 1歳6カ月児健康診査

対象—平成5年2月～3月生まれのお子さん

場所—中央公民館ホール

受付時間—午後1時～1時15分

持参—母子健康手帳、問診票、バスタオル

○ フッ素イオン導入

対象—3歳児以上

場所—中央公民館保健相談室

時間—午後1時30分～3時

持参—母子健康手帳、タオル

■ 12日(水)・26日(水)

○ 健康相談と健康教育

場所—中央公民館保健相談室

時間—午前10時～12時/午後1時～3時

内容—「糖尿病を予防する日常生活」

健康相談、血圧測定、慢性病予防教室

(ビデオによる健康教室)

■ 17日(月)

○ 第3回妊婦教室

場所—中央公民館保健相談室

時間—午前10時～11時30分

内容—赤ちゃんの扱い方と衣類について/
育児の要点について/その他

**体育の日(10月10日)は
「歩こう会」
に参加しませんか**

受付時間—午前8時30分～9時(9時に出発)

場所—鷹巣体育館

コース—①鷹巣体育館前出発—中央公園
(あずま家経由)→児童公園で解散〔6km〕

②鷹巣体育館前出発→中央公園
(トリムランニングコース経由)→

児童公園で解散〔9km〕

※コースは選べます。

健康広場

〈平成6年度結核(未受診者)検診日程表〉

まだ結核検診を受診していない方を対象に、下記の日程で2次検診が行われます。

結核は伝染病であることから年1回受診することが義務づけられていますので、必ず受診してください。

月/日	対象地区	会場	検診時間
10/3 (月)	竜森地区	葛黒林業センター	9:30～10:00
	岩 脇・品 類・吉ヶ沢 深 沢・下舟木	岩脇会館	10:30～11:00
	七日市全域	基幹集落センター	13:30～14:30
	小森全域	小森会館	15:00～15:30
	東横町・宮前町・旭 町 伊勢町	中央公民館	17:30～18:30
10/4 (火)	緑ヶ丘・蟹 沢 沢口地区全域	担い手センター 沢口林業センター	9:30～10:00 10:30～11:30
	舟 場・堂ヶ岱・小ヶ田 川 口	舟場自治会館	13:30～14:20
	南鷹巣・陣場岱・高森岱 高村岱	南鷹巣集会所	14:30～15:30
10/5 (水)	今泉地区	生活改善センター	9:30～10:00
	前 山・黒 沢	前山児童館	10:30～11:00
	坊沢地区	坊沢公民館	13:30～14:30
	深閑地区	深閑会館	15:00～15:30
10/6 (木)	摩 当・田 沢・李 岱 岩 坂・向黒沢	生活改善センター	9:30～11:00
	掛 泥・太 田・高野尻	掛泥会館	13:30～14:30
	元 町・大 町・住吉町	中央公民館	17:30～18:30
10/7 (金)	上 町・下 町・小 田 田子ヶ沢・松 原	基幹集落センター	9:30～10:30
	前 野・昭 和・大 堤	前野会館	10:40～11:40
	糠 沢・大 畑・二本杉 岩 谷	糠沢会館	13:30～14:30
	田 中・南田中・新田中 米代町・松葉町・材木町 花園町	田中総合センター	15:00～15:30
		中央公民館	17:30～18:30
10/12 (水)	都合により各地区で未受 診の方	中央公民館	13:30～15:30
	舟見町・新舟見町・あけ ぼの町・その他の地区	中央公民館	17:30～18:30

○ 最寄りの会場で受診してください。

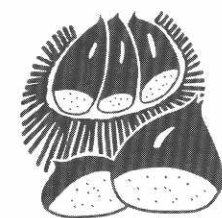
○ 学生・妊婦の方及び職場・病院などで受診済みの方は検診対象となりませんので、配布してある受診票を地区補導員を通して届けてください。

暮しの情報

INFORMATION

今月の行政相談

17日・25日



稲わら焼きに注意!

10月1日～11月10日までの期間は、県条例により稲わら等を屋外で焼くことは禁止されています。

行政についての不満や要望がありましたら、どんな些細なことでも遠慮なく申し出てください。

▽時間 午前十時～午後三時
▽場所 十七日(月) 中央公民館分館(社会福祉協議会)
二十五日(火) 中央公民館

▽行政相談委員 近藤 栄一 (☎六二二二一一〇)

※相談は無料で、秘密は固く守られます。

※十七日は行政相談週間中です。ので、社会福祉協議会との心配ごと相談と合同で行います。

全国道路標識週間

10月1日～7日

道路標識は、道路交通に関する適切な情報を提供し道路

出かせぎを予定している方へ

◎健康診断の方法が変わりました

健康管理に十分配慮し、安全に就労していただくために、就労前健康診断(無料)の検査項目を大幅に追加しました。

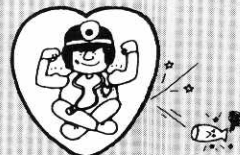
◎早めに受診してください

検査結果が出るまで数日かかりますので、1週間前には受診して検査結果を受け取ってから出かけるようにしてください。検査は3カ月前からできますので、就労先が未定の方でも受診できます。

◎健康診断の手続きは 役場商工観光課へおいでください

◎町の出稼相談員

- 【坊沢・鷹巣・七座地区担当】
佐々木 長 蔵 (☎62-0789)
- 【綴子・太田地区担当】
高 橋 榮 (☎62-0910)
- 【沢口・摩当地区担当】
中 嶋 光 雄 (☎62-2221)
- 【七日市地区担当】
永 井 正 蔵 (☎66-2277)



を安全、快適、円滑に利用するための重要な施設です。

道路標識をより利用しやすく有効に活用するために、道路標識について考えてみませんか。

ご意見・ご要望がありましたら役場建設課維持管理係(内線二九六・二九七)までご連絡ください。

平成6年度

道路交通センサス

が実施されます

「道路交通センサス」は、道路の実態や自動車の利用状況を全国規模で調べる調査で結果は将来の道路計画や都市

平成6年度

赤い羽根共同募金

10月1日～12月31日



慶弔だより

9月1日～15日・敬称略



お誕生おめでとう
ございます

成田 広大 (広子) 長男 四 渡
田村 優帆 (仁子) 長女 太 田
若松 かずひさ (久友) 長男 住吉町
畠山 ゆみ (保明) 長女 向黒沢
藤原 ゆうへい (栄幸) 三男 下舟木
長岐 あみ (篤市) 長女 中 畑
田中 しゅんた (輝明) 二男 あげほの町
齋藤 まゆこ (清信) 長女 太平町
荒神 さくら (仁代) 長女 松葉町
畠山 あかり (久徳) 三女 藤 株



二人の前途を
祝福いたします

山口 奨 あげほの町
松橋 泉 森 吉 町
成田 昇 坊 沢 羽 立
福岡 久美子 合 川 町
佐藤 智文 舟 場
松橋 美樹子 合 川 町

おくやみ申し上げます

佐藤利三郎 (82歳) 七日市本郷
高岡 唯雄 (81歳) 大 町
福士 キヌ (86歳) 花 園 町
近藤 鉦藏 (66歳) 松 葉 町
高田 アキ (75歳) 旭 町
成田 光雄 (71歳) あげほの町
太田見禮吉 (80歳) 前 野
長岐清治郎 (83歳) 根木屋敷
戸澤 ヤエ (83歳) 前 山

全国防犯運動

(10月1日～10月10日)

重点

- 侵入盗犯の防止
- 金融機関等の防犯体制の点検指導
- 防犯功労者の表彰

善

意

町社会福祉協議会へ、次の方から寄付金をいただきました。ご芳志に感謝いたします。

計画などに活かされます。このうちオーナーインタビューOD調査は、出発地・目的地などをはじめとした運行内容や運行状況について自動車登録台数の4%程度の自動車を対象として調査します。十月下旬から十一月上旬にかけて、調査員が対象となる自動車の所有者または使用者を訪問し聞き取り調査をいたしますので、ご協力のほどをお願いいたします。

鷹巣町役場建設課

香典返し

△畠山慎之助さんより一般寄付として一万六千五百八十円

このほど次の方々から、香典返しとして町社会福祉協議会へ寄付金をいただきました。ご芳志に感謝いたします。

▽中屋敷 近藤義秋さんから
▽父儀三郎さんの香典返し
▽材木町 熊谷利美さんから
▽父鉄蔵さんの香典返し
▽大町 高岡ヤエさんから
夫唯雄さんの香典返し
▽葛黒 笹代邦雄さんから
母ハナさんの香典返し
▽元町 本城谷賢一さんから
亡母キエさんの香典返し
▽摩当 田村義男さんから
亡妻キヨさんの香典返し

古伝承を訪ねながら日帰りのハイキング

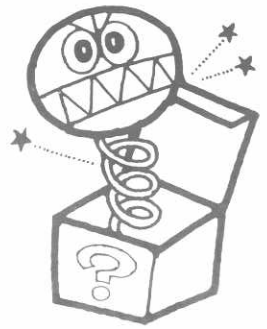
「房住山」に登ってみませんか

「房住山」は、上小阿仁村・琴丘町・二ツ井町にまたがる小高い山で、その歴史は古く、古代北秋田地方の修験の中心道場として栄えたところとして伝えられています。秋の日の自然に親しみながら、修験者の回峰の道を訪ねてみませんか。

- 日 時 十月十七日(月) 中央公民館前午前七時三十分出発・午後四時三十分到着(交通手段 町のバス)
- コース (登山) 上小阿仁村滝の上登山口より約七・二km (下山) 二ツ井町小新沢林道登山口へ
- 募集人数 二十八名(定員になり次第締め切り)
- 案内人 七尾専次郎氏ほか
- 持ち物・服装 昼食・飲料水・雨合羽・山歩きに適した服装で
- 参加費 無料
- 申込先 十月十一日(火)までに、教育委員会生涯学習課(☎六二一一一一 内線四二五〇四二六)へ

鷹巣町特産品開発コンクール

あなたの作品を まっています!



=応募締め切りは10月15日(土)=

- ◇募集部門 A：食べられる部門 B：食べられない部門（食品、工芸品等の土産品・贈答品などで、鷹巣町の特産品として商品化が可能な商品）
- ◇応募資格 鷹巣町在住の方、もしくは鷹巣町内に就業・就学している方
- ◇褒賞 A・B両部門ともそれぞれ10点に賞状と副賞
- ◇応募規定 (1)試作品、設計図、イラスト、文書による説明などアイデアが具体的にわかるものであれば表現方法は自由。ただし10月下旬に行う審査期日までに必ず試作品を提出すること／複数の作品に応募する場合は作品1点につき応募用紙を添えること（応募用紙は私製のものでも可）
(2)応募用紙の記載事項 ①住所②氏名③電話番号④応募部門（A・B）⑤応募作品の名称及び製作意図⑥作品の返還の要・不要
(3)飲食品の現物（試作品）で応募する場合は、審査当日まで変質しないように配慮のこと（審査日に合わせて現物の搬入可）
(4)応募作品は新規創造品に限ること
(5)出品料は無料／搬入経費は応募者負担
- ◇審査発表 審査会は10月下旬に主催者が委嘱する審査員によって行い、入賞作品は審査終了後本人宛に通知するとともに鷹巣町産業祭で発表
- ◇授賞式 11月6日（日） 鷹巣町産業祭の会場にて
- ◇応募先 〒018-33 鷹巣町住吉町12-18 鷹巣町産業会館内物産協会特産品開発コンクール係（☎0186-62-1850）
- ◇その他 開催要項・応募用紙とも、必要な方は主催者に請求のこと
- ◇主催 鷹巣町物産協会
- ◇共催 鷹巣町・鷹巣町商工会・鷹巣町観光協会・J A鷹巣町

広報たかのす 10月1日号 (No.777)

平成6年度文化庁移動芸術祭 寄席芸能公演

「芸術祭」が
「東京」からやってくる。

出演



桂 文治



桂 歌丸

日時

10月17日(月)

開場午後6時 開演午後6時30分

会場

たかのす風土館(ファルコン)

全席自由

入場料

(前売券)一般二、八〇〇円 小中高一、五〇〇円
(当日券)一般三、三〇〇円 小中高二、〇〇〇円

主催

文化庁・秋田県教育委員会・鷹巣町
教育委員会

後援

鷹巣町芸術文化協会

編集・発行 鷹巣町役場地域政策課広報広聴係
秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19番1号

☎0186-62-1111 FAX0186-63-2588